

**製品名: AURKA マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80944**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:50-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AURKA
別名	AIK; ARK1; AURA; BTAK; STK6; STK7; STK15; AURORA2; MGC34538; AURKA
遺伝子 ID	6790.0
SwissProt ID	O14965
免疫原	大腸菌で発現したヒト AURKA の精製された組み換え断片。

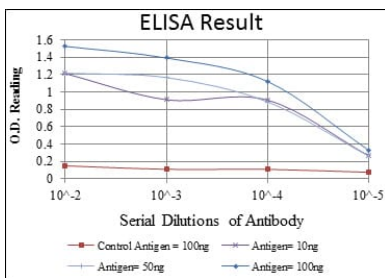
**背景**

オーロラ A は、染色体分離における中心体 / 紡錘体極領域の機能に関連して、後期および / または終期における細胞周期の調節に関与しています。オーロラ A は腫瘍の発生と進行に重要な役割を果たしており、乳がん、卵巣がん、大腸がんなど多くのヒトがんにお

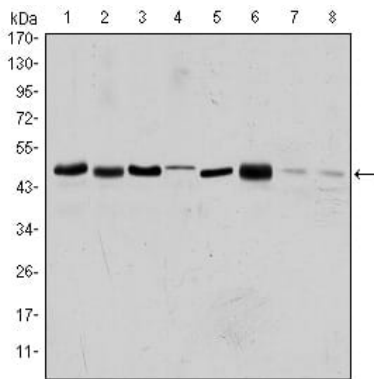
いて過剰発現しています。オーロラ A は抗がん剤治療の潜在的な標的と考えられています。組織特異性：精巣で高発現し、骨格筋、胸腺、脾臓では弱発現しています。また、結腸がん、卵巣がん、前立腺がん、神経芽腫、乳がん、子宮頸がんの細胞株でも高発現しています。

## 研究分野

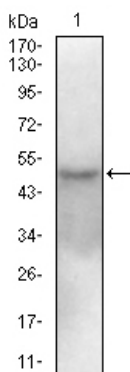
## 画像データ



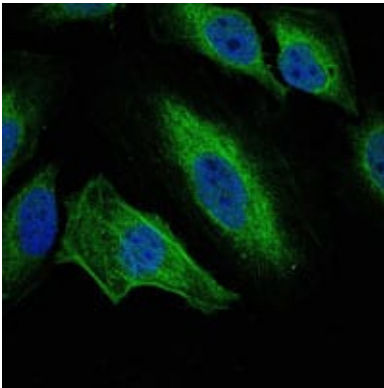
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



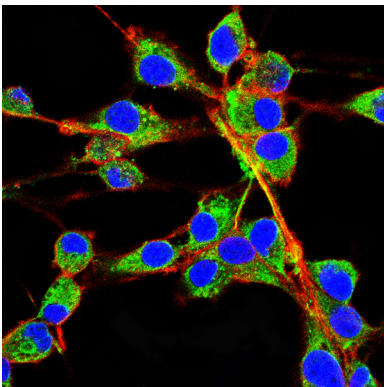
HEK293 (1)、Sw620 (2)、MCF-7 (3)、Jurkat (4)、HeLa (5)、HepG2 (6)、Cos7 (7)および PC-12 (8)細胞溶解物に対する AURKA マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



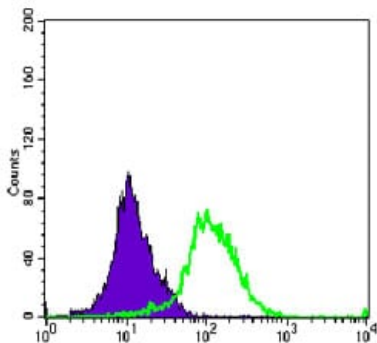
F9 細胞溶解物に対する AURKA マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



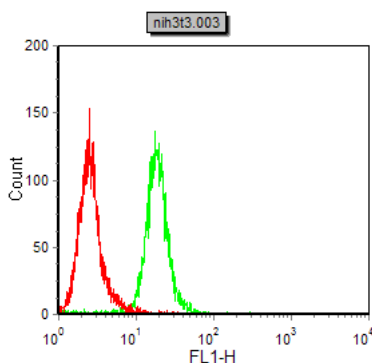
AURKA マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



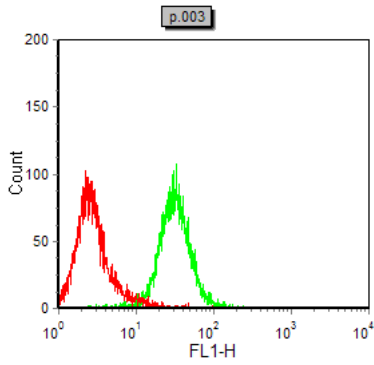
AURKA マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



AURKA マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (紫) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



AURKA マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



AURKA マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した PC-12 細胞のフローサイトメトリー分析。